

平成24年度 第2回首都圏渋滞ボトルネック対策協議会 議事概要

1. 日時 平成24年7月26日（木）14:00～16:00

2. 開所 サンケイプラザ 312会議室

3. 出席者

[委員長]

池田 豊人（関東地方整備局 道路部長）

[委員]

高井 嘉親（関東地方整備局 道路企画官）

只野 智明（関東運輸局 交通環境部次長）

椎名 康雄（警視庁 交通技術担当管理官）

尾上 和志（埼玉県警察本部 交通管制センター所長）

鵜澤 政幸（千葉県警察本部 理事官兼交通管制センター長）

新倉 聡（神奈川県警察本部 交通部管理官（交通技術官））

荻野 隆一（埼玉県 道路政策課長）

斎藤 甚一（千葉県 道路計画課長）

加藤 昌宏（東京都 道路保全担当部長）

笠間 順（神奈川県 道路企画課 副課長）

酒谷 幸彦（山梨県 県土整備部長）

高木 勇一（横浜市 道路局道路部長）

山田 彰彦（川崎市 建設緑政局 計画部長）

中台 公明（千葉市 建設局長）

角南 勇二（さいたま市 技監）

藤井 弘造（相模原市 参事（幹線道路担当））

中川 裕明（東日本高速道路株 関東支社 管理事業部長）

日比野 進弘（中日本高速道路株 東京支社 保全・サービス事業部長）

斉藤 康博（中日本高速道路株 八王子支社 保全・サービス事業部長）

林 寛之（首都高速道路株 計画・環境部担当部長）

辻 保人（関東地方整備局 大宮国道事務所長）

遠藤 和重（関東地方整備局 千葉国道事務所長）

渡辺 学（関東地方整備局 東京国道事務所長）

森 勝彦（関東地方整備局 横浜国道事務所長）

乙守 和人（関東地方整備局 甲府河川国道事務所 副所長）

田村 央（関東地方整備局 相武国道事務所長）

4. 議事

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局 道路部長

(2) 審議

1) 第1回協議会における主な意見

- ・ NEXCO中日本、千葉市、NEXCO東日本、運輸局から前回ご指摘にボトルネックについて説明。

2) 各県移動性向上委員会における主な意見

- ・ 千葉国道、横浜国道、大宮国道から移動性向上委員会でのご意見について説明
- ・ 埼玉県では、高速会社、ユーザとしてのトラック協会等を追加
- ・ 地方部での渋滞状況に対する実感に差異があるため、速度が高くても渋滞と感じている箇所がリストアップされない。
⇒各都県で重要なのはリストアップしていきたい。

3) 主要渋滞箇所の候補の選定の考え方

- ・ 館山道は通常と渋滞時のギャップが大きいため、実感として渋滞と感じているのでリストアップしてほしい。
⇒休日交通として館山道はリストアップしている
- ・ 県道以上が対象となっているため、まんべんなく渋滞しているように思われるので、国道のみ等対象を絞ったほうが、エリアを際立てた整理がよいのでは。
- ・ 千葉県では、国道14号の京成線の踏切は実態としてはネックとなっている。また、東武野田線もネックとなっているところが表現できないか。
⇒大切なところはリストアップしていきたい
- ・ 東京都1位に京急は、解消されているのでは。
⇒1方向上にあがっているため、確認する。
- ・ 今回選定されたボトルネック箇所の対策へ集中投資すると、他の道路への予算が少なくなるのでは。ボトルネック対策への予算の配分はどう考えているか
⇒今回の選定は混んでいる箇所の共有を前提としている。渋滞だけが道路整備ではないが、渋滞の対策についてはこの中に盛り込んでいきたい。
- ・ 箇所と対策をセットで考えているのか。踏切の対策は手法が限定されていてすぐに対策することができない。
⇒個別の対策があるところを選定するのではなく、問題があるところを抽出していく。その中で、短期、長期の方向性をまとめる。重要な個別箇所についてはワーキングを実施していく。
- ・ 今後の指標を業務で利用するものではなく、渋滞箇所の抽出のためと認識しているが、

今後の指標の取り扱いはどう考えているか

⇒個別の検討は進めてください。関東一円で見る場合に参考となる指標と考える。個別の箇所では独自の指標を使用することは問題ない。

⇒今回の指標で抽出できないが何かしないといけない箇所については、指標だけでなく実感などその他として取り上げる

・事業している箇所であるため選定されていない箇所がある。事業している箇所においても継続していくために重要なので選定してほしい。

・踏切に隣接している交差点については、踏切としては抽出されていないのか

⇒交差点の対策として、踏切を対策と考えるなど幅広く考えてもよいのでは

・箇所については、県と事務所のほうですり合わせを行ってもよいか

⇒全体をよく見ていただき、1週間以内で意見を挙げてもらいたい

4) パブリックコメントの実施 (案)

・渋滞の箇所の考え方を事前に見ることができるか。

⇒今回の資料を公開するため、アンケート時に閲覧できるように誘導する。

・パブコメの周知は？

⇒新聞広告を予定している。

・市町村、利用者団体から周知してもらうなど工夫が必要である。

・選択肢となる渋滞箇所は。

⇒全箇所対象とする。

・渋滞箇所の交差点名でなく地図でできるようにするのか。

⇒地図で確認できるようにする。

・リストにない箇所は、回答者が自分の思いで回答するため、必要項目(番地、路線名、渋滞状況など)を回答してもらうようにしたほうがよい。

・高速の渋滞は区間が上下あわせたものであることを補足してほしい。

・高速の渋滞箇所が八王子JCT～相模湖東であると小仏トンネルがあることが分かりにくいいため、ボトルネック名称を記載してほしい。

・属性として、運転手かどうか、運転頻度を入れたほうがよいのでは。

・同じ回答者はどうチェックするか。同じ箇所を何回も回答する人、色々な箇所を回答する人がいると思う。

⇒回答数が多いかどうかを整理するものではないため、1人1票でなくてもよいと考えている。

・渋滞している曜日、時間の確認はしないのか

⇒そこまで詳しいアンケートは考えていない。箇所自体は一定の見方、客観データで整理しているため、アンケートでは実感としてあっているかどうかを確認したいため、詳細な渋滞状況についての確認までは考えていない。

- ・回答者は、複数チェックできるか。

⇒複数チェックとする

- ・対策に対するパブコメは考えているか

⇒今は考えていない。対策の決定の前に実施するかは今後考えていく。

5) 今後の予定

- ・新たなネットワーク整備も抽出できるようにしてほしい。

- ・道路整備による新たなボトルネックも生じるため、今後も議論できればよい。

以上